

## 七飯町海外交流研修報告書発行にあたって

七飯町とコンコード町は、1997年11月に姉妹都市提携の調印を交わしてから今年で16周年を迎えました。

そして、この海外交流研修は今年度で19回目を迎え、10月1日から10月11日までの11日間、コンコード町に、総勢14名（中学生5名、高校生3名、引率教員1名、一般町民3名、役場職員2名）で訪問してまいりました。

現地では、全員がホームステイ体験をさせていただき、米国の文化や習慣を学びながら七飯町の魅力を紹介していただくなど、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してまいりました。

生徒たちは七飯高校の姉妹校であるコンコードカーライル高校において、一緒に授業に参加し、また、ラジオ局での生出演など多くの経験をしました。さらには「若草物語」の舞台となったオーチャードハウスや、アメリカ独立戦争発祥の地であるオールドノースブリッジ、ハーバード大学など世界最高峰の大学の校内見学など普通の観光ではできない貴重な体験をさせていただきました。将来を担う若者たちが自分の目や耳で直接体験することは計り知れない良い経験であり、生涯において大変貴重な財産になったことと思います。

一般町民代表の参加につきましては、東日本大震災以降、町民の防災意識が高まる中で、消防団員の役割が以前にも増して重要視されていることから消防団員を派遣。現地の消防署などで、日本との類似点や違いなど直接意見交換を交わし学んでもらうことを主眼に実施しました。

引率教員におかれましても、現地の小学校で日本の小学校の年中行事を紹介するなど積極的に交流していただきました。

そのために、新たな研修プログラムを用意し、準備から訪問中の引率まで汗を流していただいたコンコードのCCNN（コンコードカーライル・七飯ネットワーク）メンバーの皆様には、大変ご苦勞をお掛けしたことに改めてお礼を申し上げます。

1998年からは、コンコードより国際交流員を招へいし、現在は第9代目になりますベンジャミン・ヘイドックさんも一般町民を対象に英会話講座の講師をしたり、七飯高校英語部での交流、町内の保育所での交流など、また、今年からは地域の団体を対象に出前講座を開催し、両町の懸け橋となり精力的に業務に取り組んでおり、これからも両町の交流の輪をさらに広げてくれるものと思っております。

最後になりますが、本事業の実施にあたりまして、様々な形でご協力くださいました各中学校並びに七飯高校、地域、家庭の皆様、そして、心温まる受入をして下さったコンコード町の皆様方に改めて厚くお礼申し上げます。



七飯町長 中宮 安一